t

**環境ビジネスの海外展開についてのアンケート調査**

**～連携・パッケージ化による海外進出～**

平成26年10月

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　経済産業省中部経済産業局環境・リサイクル課

公益財団法人国際環境技術移転センター

|  |
| --- |
| **◆ご協力のお願いについて**  　中部経済産業局では、中部地域における産業公害防止技術等の環境ビジネスに取り組む企業を対象に、国内外におけるビジネス拡大を総合的に支援する調査事業を平成24年度より展開しており、その実施を公益財団法人国際環境技術移転センター（三重県四日市市）に委託しております。    　中部経済産業局が中心となって実施している包括的な支援活動の一環で、複数の産業公害防止技術・製品のパッケージによる海外市場への参入に対する支援を行っています。  環境ビジネスの海外展開は環境ビジネス企業1社だけでは実現が難しい場合があり、特に中小企業については、海外戦略に長けた企業との連携を行うことでより戦略的な活動に発展しうると考えます。このため、海外を事業活動の場に取り込んでおられる企業様のご意見を参考にして、今後のパッケージ化と海外展開のあり方、並びに、これら中部地域の環境ビジネス群を核としてパッケージ化されたプロジェクトへのご参画の可能性を検討するためのアンケートを実施する運びとなりました。  　この目的のため、貴社ホームページや中部経済産業局がこれまでに実施した同事業にて頂戴しました貴社情報をもとに、ご連絡させていただきました。  　事業活動ならびにコーディネーションに関するご意向等についての下記のアンケート調査にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。  なお、本件は統計処理して集計結果のみを使用しますので、個別情報は一切特定されません。また、情報保護の観点から厳重に管理し、本調査の目的以外に使用することはございません。 |

**◆回答方法**

本アンケート調査票の回答欄に直接ご記入いただくか、下記に記したホームページからダウンロードの上ご記入いただき、**１０月３１日（金）**までに、以下のいずれかの方法でご回答ください。

調査票データのダウンロード（Microsoft Word版）はこちらから：

http://www.icett.or.jp/chousa/chousa/h26/h26\_kaigaiq\_co.html

１．郵送：

同封の返信用封筒に封入の上、郵便ポストへご投函ください（切手は不要）。

２．ＦＡＸ：

FAX（059-329-8115）まで、ご送付ください。

３．E-mail：

　　　HPから調査票をダウンロードの上、E-mail添付にてご回答ください。

E-mail宛先：nagai@icett.or.jp（永井）

**【返信及びお問い合わせ先】**

公益財団法人国際環境技術移転センター（略称「ICETT（アイセット）」）

（担当：永井真紀、黒田直子、中丸寛仁）

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684番地の11

TEL：059-329-3500　FAX：059-329-8115

E-mail：[nagai@icett.or.jp](mailto:nagai@icett.or.jp) （永井）

**【本調査の趣旨に関するお問い合わせ】**

経済産業省 中部経済産業局 （担当：資源エネルギー環境部 環境・リサイクル課）

〒460-8510 愛知県名古屋市中区三の丸2丁目5番2号

TEL：052-951-2768　FAX：052-951-2568

なお、中部経済産業局では中部地域の環境ビジネスに取り組む企業を紹介したデータベースを作成しており、これらの掲載企業を当面の連携対象と考えております。下記のサイトより閲覧・ダウンロードが出来ます。

http://www.chubu.meti.go.jp/kankyo/kankyo\_business.htm#chi\_data

**アンケート調査票**

**◆はじめに、貴社についてお聞かせ下さい**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **事業所名** |  | | | 本社/ 地域統括拠点/ 地域営業拠点/ 製造所/ 研究所 (いずれかに○印) | | |
| (英名) | | | | | |
| **所在地** | 〒 | | | | | |
| **資本金** | 万円 | | 設 立 年 | | （西暦） 　　　　　　年 | |
| **従業員数** | （全社） 　 　　　人  （貴事業所） 　　　　人 | | 売 上 高 | | 億円 | |
| **業種**  **（会社全体としての分類でお答え下さい。○印は 1つだけ）** | 1. 環境関連設備・製品を含む製造業 　2. その他の製造業  3. 環境関連の調査・分析業　　 　　4. 廃棄物処理・リサイクル業  5. 建設業（総合・設備・建築・道路）　6. 商業  7. エンジニアリングサービス　　　 8. コンサルティングサービス  9. 金融　　　　　　　　　　　　　　 10．不動産  11. その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ） | | | | | |
| **ご 回 答 者 様**  **(環境ビジネス**  **ご担当者)** | ご所属： | | | | | |
| ご役職： | | お名前： | | | |
| E-mailアドレス | @ | | | | |
| **電 話 番 号** | ( 　　　) 　　　　－ | | ＦＡＸ番号 | | | ( 　　　) 　　　　－ |
| **ホ ー ム ペ ー ジ** | http:// | | | | | |

**I　環境分野での海外展開に関するお考えやご意向について、中小企業を含む国内の他の企業や自治体、関係団体等と連携することに関する質問です。**

**Q1. 貴社として環境分野での海外展開にあたり、中小企業を含む国内の他の企業や自治体、関係団体等との連携による状況はどのようになっていますか、またはお考えですか。（複数のパターンがある場合は、あてはまる記号すべてに○をつけてください。）**

Q3.へ進んでください

Q6.へ進んでください

Q8.へ進んでください

Q2.へ進んでください

|  |
| --- |
| 1. 既に連携して海外展開している 2. 連携しており、海外展開を準備・手続き中 3. 連携相手を探索中 4. 連携意向はあるが、まだ動いていない 5. 特に考えていないが、もし連携の話があれば検討する 6. 以前連携していたが、現在は連携していない 7. 特に連携の意向はない |

**Q2. Q1.で「a. 既に連携して海外展開している」あるいは「b. 連携しており、海外展開を準備・手続き中」と回答された場合、貴社としてはどのような立場での連携を行っていますか、あるいは今後可能ですか。（あてはまる記号すべてに○をしてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 事業連携の提案をするなど、主体的な立場での連携 2. 事業連携を受けるなど、他社・機関に協力する立場での連携 3. 一メンバーとして、他社とほぼ同等な立場での連携 4. 条件による（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） 5. 特に決めていない |

**Q2-1. 連携相手はどのように見つけられたか、教えてください。（あてはまる記号すべてに○をつけてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 以前からの取引先 2. 取引先からの紹介を受けて 3. 県や市などの公的機関、あるいは公的な支援機関からの紹介を受けて 4. 大学など研究機関からの紹介を受けて 5. 展示会に足を運んで 6. 商談会、マッチングイベントに参加して 7. 新聞記事、業界紙、インターネット検索などで探して 8. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

→Q3. に進んでください。

**Q3. Q1.でa～dに回答された場合、海外展開において、連携により補いたいもの、連携に期待することは主に何ですか。（あてはまる記号すべてに○をつけてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 独自性のある環境技術 2. 現地において効果が実証された環境技術 3. 自社が保有しない技術との連携による技術面の向上・高度化 4. 原材料や製造に係るコスト削減 5. 原材料等の調達ルートの安定化・調達時間の短縮 6. （自社製品・サービス単体での顧客獲得が困難なため）システム化、パッケージ化による顧客の獲得 7. 会社の信用度、知名度の向上 8. 商品・サービスのブランド力の向上 9. 現地での製造拠点 10. 現地の情報網や人脈の拡大 11. 現地での資金調達ルート 12. 現地での事業展開のノウハウ 13. 言語などのコミュニケーション能力 14. その他（　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**Q3-1. Q3.の回答のうち、特に重点であるものの記号を１つ教えてください。また、それに対応する想定連携先を教えてください。**

（想定している相手）

※あてはまる記号すべてに○をしてください。

1. 環境技術を保有する企業　b. プラントメーカー
2. コンサルティング企業　　d. ゼネコン
3. 不動産業　　　　　　　　f.　商社

g. 行政 　　　　　　　　　 h. その他（　　　　　　）

|  |
| --- |
| （記号）  ※１つのみ |

**Q3-2. 連携する企業の条件、魅力を感じる企業の要件を教えてください。（以下から特にあてはまる記号３つに○をつけてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 先進的な技術を有している 2. 経営方針が一致している 3. 経営トップの連携や海外展開への意欲が高い 4. 経営が安定している 5. 経営判断が早い 6. 行動に機動力がある、小回りが利く 7. 自社のコネクションが弱い国と、当該者が強いパイプを有する 8. 自社と同地域に拠点（本社、営業所等）を有する 9. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

→Q4. に進んでください。

**Q4.　連携にあたって探した、あるいは探している技術・サービスを可能な範囲で教えてください。（「１．技術・サービス」の欄の記号に○印の上、それぞれの項目の「２．具体的な技術・課題等」に回答してください。）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分野 | １．技術・サービス | ２．具体的な技術・課題等 |
| 水 | a-1. 工場排水処理 |  |
| a-2. 一般排水処理 |  |
| a-3. 上下水道関係 |  |
| a-4. 公共用水域浄化 |  |
| a-5. その他水質関係 |  |
| 大気 | b-1. 工場からの排ガス対策 |  |
| b-2. 民生から大気汚染対策 |  |
| b-3. 自動車からの排ガス対策 |  |
| b-4. その他大気汚染関係 |  |
| 土壌  汚染 | c-1. 重金属土壌・地下水汚染の処理 |  |
| c-2. 化学物質による土壌・地下水汚染の処理 |  |
| c-3. その他土壌・地下水汚染関係 |  |
| 廃棄物・資源リサイクル | d-1. 固形廃棄物（汚泥を含む）の燃料化・炭化 |  |
| d-2. 固形廃棄物（汚泥を含む）を使用した熱回収・発電 |  |
| d-3. 固形廃棄物（汚泥を含む）からの金属回収 |  |
| d-4. その他廃棄物処理・リサイクル関係 |  |
| 調査・分析 | e. 調査・分析・モニタリング |  |
| 生産工程改善 | f-1. 生産工程上における環境負荷低減 |  |
| f-2. 生産工程上における有害物質使用削減 |  |
| f-3. 生産工程上における資源・エネルギー使用削減 |  |
| 省エネルギー | g-1. 省エネ製品・機器 |  |
| g-2. 省エネノウハウ |  |
| g-3. その他省エネ関係 |  |
| 再生可能エネルギー | h-1. バイオマスの燃料化 |  |
| h-2. バイオマス発電 |  |
| h-3. その他の再生可能エネルギー関係 |  |
| コンサルティングサービス | i-1. 市場調査・顧客調査 |  |
| i-2. 国別コンサルティング |  |
| i-3. 海外展開戦略コンサルティング |  |
| i-4. その他のコンサルティングサービス |  |
| その他 | j. その他の技術・サービス |  |

→Q5. に進んでください。

**Q5. 連携により海外展開を行う際、貴社はどのような役割での関与が可能ですか。（あてはまる記号すべてに○をつけてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 環境関連製品・技術・サービスの提供　→ Q5-1.へ 2. コンサルティングサービス、コーディネーションサービスの提供　→ Q5-2.へ 3. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）→ Q6.へ |

**Q5-1.　 連携にあたって貴社が提供できる環境関連の製品・技術・サービスを可能な範囲で教えてください。（「１．技術・サービス」の欄の記号に○印の上、それぞれの項目の「２．具体的な技術等」に回答してください。）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分野 | １．技術・サービス | 1. 具体的な技術等 |
| 水 | a-1. 工場排水処理 |  |
| a-2. 一般排水処理 |  |
| a-3. 上下水道関係 |  |
| a-4. 公共用水域浄化 |  |
| a-5. その他水質関係 |  |
| 大気 | b-1. 工場からの排ガス対策 |  |
| b-2. 民生から大気汚染対策 |  |
| b-3. 自動車からの排ガス対策 |  |
| b-4. その他大気汚染関係 |  |
| 土壌汚染 | c-1. 重金属土壌・地下水汚染の処理 |  |
| c-2. 化学物質による土壌・地下水汚染の処理 |  |
| c-3. その他土壌・地下水汚染関係 |  |
| 廃棄物・資源リサイクル | d-1. 固形廃棄物（汚泥を含む）の燃料化・炭化 |  |
| d-2. 固形廃棄物（汚泥を含む）を使用した熱回収・発電 |  |
| d-3. 固形廃棄物（汚泥を含む）からの金属回収 |  |
| d-4. その他廃棄物処理・リサイクル関係 |  |
| 調査・分析 | e. 調査・分析・モニタリング |  |
| 生産工程改善 | f-1. 生産工程上における環境負荷低減 |  |
| f-2. 生産工程上における有害物質使用削減 |  |
| f-3. 生産工程上における資源・エネルギー使用削減 |  |
| 省エネルギー | g-1. 省エネ製品・機器 |  |
| g-2. 省エネノウハウ |  |
| g-3. その他省エネ関係 |  |
| 再生可能エネルギー | h-1. バイオマスの燃料化 |  |
| h-2. バイオマス発電 |  |
| h-3. その他の再生可能エネルギー関係 |  |
| その他 | i. その他の技術・サービス |  |

**Q5-2.　貴社が提供可能なコンサルティングサービス・コーディネーションサービスについて、可能な範囲で教えてください。（「１．サービス」欄のあてはまる記号すべてに○印をした上、それぞれの項目が有償か無償に○印をし「２．提供可能な国」に回答してください。）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １．サービス | いずれかに○をしてください。 | | ２．提供可能な国 |
| 有償 | 無償 |
| 1. 市場調査、ニーズ調査 | 1 | 2 | ①中国 ② ｲﾝﾄﾞ ③ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ ④ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ ⑤ﾀｲ ⑥ﾌｨﾘﾋﾟﾝ  ⑦ﾍﾞﾄﾅﾑ ⑧ﾐｬﾝﾏｰ ⑨ﾗｵｽ　⑩その他（　　　　　　 　） |
| 1. 顧客可能性調査、潜在的な顧客情報の提供 | 1 | 2 | ①中国② ｲﾝﾄﾞ ③ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ ④ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ ⑤ﾀｲ ⑥ﾌｨﾘﾋﾟﾝ  ⑦ﾍﾞﾄﾅﾑ ⑧ﾐｬﾝﾏｰ ⑨ﾗｵｽ　⑩その他（　　　　　　 　） |
| 1. 現地の製造拠点及びその機能の紹介 | 1 | 2 | ①中国② ｲﾝﾄﾞ ③ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ ④ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ ⑤ﾀｲ ⑥ﾌｨﾘﾋﾟﾝ  ⑦ﾍﾞﾄﾅﾑ ⑧ﾐｬﾝﾏｰ ⑨ﾗｵｽ　⑩その他（　　　　　　 　） |
| 1. 現地の協同実施者、協力者（パートナー）の紹介 | 1 | 2 | ①中国② ｲﾝﾄﾞ ③ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ ④ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ ⑤ﾀｲ ⑥ﾌｨﾘﾋﾟﾝ  ⑦ﾍﾞﾄﾅﾑ ⑧ﾐｬﾝﾏｰ ⑨ﾗｵｽ　⑩その他（　　　　　　 　） |
| 1. 現地調達先の紹介 | 1 | 2 | ①中国② ｲﾝﾄﾞ ③ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ ④ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ ⑤ﾀｲ ⑥ﾌｨﾘﾋﾟﾝ  ⑦ﾍﾞﾄﾅﾑ ⑧ﾐｬﾝﾏｰ ⑨ﾗｵｽ　⑩その他（　　　　　　 　） |
| 1. 現地販路の紹介 | 1 | 2 | ①中国② ｲﾝﾄﾞ ③ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ ④ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ ⑤ﾀｲ ⑥ﾌｨﾘﾋﾟﾝ  ⑦ﾍﾞﾄﾅﾑ ⑧ﾐｬﾝﾏｰ ⑨ﾗｵｽ　⑩その他（　　　　　　 　） |
| 1. 海外事業の戦略、フレーム形成のコンサルティング | 1 | 2 | ①中国② ｲﾝﾄﾞ ③ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ ④ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ ⑤ﾀｲ ⑥ﾌｨﾘﾋﾟﾝ  ⑦ﾍﾞﾄﾅﾑ ⑧ﾐｬﾝﾏｰ ⑨ﾗｵｽ　⑩その他（　　　　　　 　） |
| 1. 現地企業との交渉等に係るコンサルティング | 1 | 2 | ①中国② ｲﾝﾄﾞ ③ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ ④ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ ⑤ﾀｲ ⑥ﾌｨﾘﾋﾟﾝ  ⑦ﾍﾞﾄﾅﾑ ⑧ﾐｬﾝﾏｰ ⑨ﾗｵｽ　⑩その他（　　　　　　 　） |
| 1. その他（   　　　　 　 　　） | 1 | 2 | ①中国② ｲﾝﾄﾞ ③ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ ④ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ ⑤ﾀｲ ⑥ﾌｨﾘﾋﾟﾝ  ⑦ﾍﾞﾄﾅﾑ ⑧ﾐｬﾝﾏｰ ⑨ﾗｵｽ　⑩その他（　　　　　　 　） |

**Q5-2-1. Q5-2.にてご回答いただいた貴社が提供できるサービスに関して、実績や成功事例について、差し支えなければお聞かせ下さい。**

|  |  |
| --- | --- |
| 回答記号番号  （a～i） | 具体的な実績や成功事例の内容 |
|  |  |
|  |  |

**Q5-2-2. Q5-2.にてご回答いただいた貴社が提供できるサービスに関して、残された課題がもしありましたら、差し支えない範囲でお聞かせ下さい。**

|  |  |
| --- | --- |
| 回答記号番号  （a～i） | 課題の内容 |
|  |  |
|  |  |

→Q6. に進んでください。

**Q6. 今後、貴社が環境分野での連携、パッケージ化を行うに際し、どのような産業やテーマにビジネスチャンスがあるとお考えですか。可能な範囲で教えてください。「１．テーマ」欄においてあてはまる記号すべてに○をした上、「２．詳細なテーマ、具体的な技術・課題等」欄にそれぞれ記入してください。また、お答え頂いたものについて、チャンスがあると考えられる特定の産業がある場合、「３．産業」欄に表下の選択肢からあてはまる産業番号をすべて記載してください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 分野 | １．テーマ | ２．詳細なテーマ、具体的な技術・課題等 | ３．産業　①～⑮ |
| 水 | a-1. 工場排水処理 |  |  |
| a-2. 一般排水処理 |  |  |
| a-3. 上下水道関係 |  |  |
| a-4. 公共用水域浄化 |  |  |
| a-5. その他水質関係 |  |  |
| 大気 | b-1. 工場からの排ガス対策 |  |  |
| b-2. 民生から大気汚染対策 |  |  |
| b-3. 自動車からの排ガス対策 |  |  |
| b-4. その他大気汚染関係 |  |  |
| 土壌汚染 | c-1. 重金属土壌・地下水汚染の処理 |  |  |
| c-2. 化学物質による土壌・地下水汚染の処理 |  |  |
| c-3. その他土壌・地下水汚染関係 |  |  |
| 廃棄物・資源リサイクル | d-1. 固形廃棄物(汚泥を含む)の燃料化・炭化 |  |  |
| d-2. 固形廃棄物(汚泥を含む)を使用した熱回収・発電 |  |  |
| d-3. 固形廃棄物(汚泥を含む)からの金属回収 |  |  |
| d-4. その他廃棄物処理・リサイクル関係 |  |  |
| 調査  ・  分析 | e. 調査・分析・モニタリング |  |  |
| 生産工程改善 | f-1. 生産工程上における環境負荷低減 |  |  |
| f-2. 生産工程上における有害物質使用削減 |  |  |
| f-3. 生産工程上における資源・エネルギー使用削減 |  |  |
| 省エネルギー | g-1. 省エネ製品・機器 |  |  |
| g-2. 省エネノウハウ |  |  |
| g-3. その他省エネ関係 |  |  |
| 再生可能エネルギー | h-1. バイオマスの燃料化 |  |  |
| h-2. バイオマス発電 |  |  |
| h-3. その他の再生可能エネルギー関係 |  |  |
| その他 | i. その他の技術・サービス |  |  |

【産業番号】（複数回答可）

1. 食料品・飲料製造業　　 ②繊維工業　　③パルプ・紙・紙加工品製造業　　 ④化学工業　　⑤製油産業

⑥石油製品・石炭製品製造業　⑦ゴム製品製造業　⑧なめし革・同製品・毛皮製造業　⑨鉄鋼業　　　　　　　　　　　　　⑩金属製品製造業　⑪電子部品・デバイス・電子回路製造業　　⑫電子機械器具製造業　⑬廃棄物処理業　　　　　　　　　　　　　⑭その他１（　　　　　　　　　　　　　　　）　⑮その他２（　　　　　　　　　　　　　　）

→Q7. に進んでください。

**Q7. 中小企業との連携の構築、パッケージ化にあたってどのような外部支援を得たいですか。（あてはまる記号すべてに○をつけてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 連携に関心のある企業や団体に関する情報の提供 2. テーマ別研究会等、連携相手を探す場の設定 3. 第三者による、連携相手企業の技術への認定・認証 4. 連携相手の個別紹介 5. 技術の高度化のための研究機関の紹介 6. 資金的支援およびそれに関連する情報の提供 7. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　） |

→Q9. に進んでください。

**Q8. Q1.で「f. 以前連携していたが、現在は連携していない」あるいは「g. 特に連携の意向はない」と回答された場合、その理由を教えてください。（あてはまる記号すべてに○をしてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 自社において単独で海外展開できるため 2. 海外企業等との連携しており、国内企業等と連携する必要性がないため 3. 自社の責任・役割が大きくなると負担となるため 4. 連携企業間の契約（守秘義務、知財の所有、利益配当、損失負担、事業中断等）の調整、遵守に関するトラブル発生が懸念されるため 5. 連携企業からの信用面でのリスクを負いたくないため 6. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**Q8-1.　貴社にとって、連携に前向きになる条件がありましたら教えてください。（あてはまる記号すべてに○をしてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 自社にない技術や海外のコンタクトルートなど、付加価値が得られる 2. 適切なコーディネーションにより、連携による通常業務への支障が少ない 3. 連携企業との契約により、余計な財政的負担がかかることが明確に避けられる 4. 小回りの利く企業との連携で柔軟な対応が可能となる 5. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） 6. 特にない |

→Q9. に進んでください。

**Q9. 【全員におたずねします。】今後、パッケージ化のためのセミナーやマッチング会、あるいは研究会を開催する場合、参画にご関心はありますか。**

|  |
| --- |
| 1. 積極的に参画したい 2. 機会があればなるべく参画したい 3. 参加企業名やテーマを勘案して都度検討したい 4. 当面考えてない |

**（上記に関するコメント）**

|  |
| --- |
|  |

**Ⅱ　お知らせとお願い**

　中部地域の環境ビジネス支援のためのメールマガジンを公益財団法人国際環境技術移転セン

ターより配信しております(発行頻度：月1回程度)。貴社のご登録をお待ちしております。

　お手続きは右のサイトよりお願いいたします　http://www.icett.or.jp/moushikomi/merumaga1.html

　以上でアンケートは終了です。ご多忙のところご協力をいただき、誠にありがとうございました。

お手数ですが１０月３１日(金)までに、ご返信願います。